

# 呉・東広島

## 高齢者としば餅作り

呉の看護学部生 東広島市の施設訪問

広島文化学園大看護学部(呉市阿賀南)の2年生が25日、6班に分かれて東広島市豊栄町の住民が集うサロンなどを訪問した。

能良地域センターを訪れた男女10人は、一緒にしば餅(かしわ餅)づくり挑戦。受け入れ側12人の最高齢は92歳で、学生たちは「元気ですね」と声を上げていた。ふれあいサロンひだまり代表の大久

能良地域センターでサロン参加者としてしば餅をつくる学生たち



保智佐代さん(69)は「児童生徒との触れ合いは多いが、20歳前後

の人はほとんどない。和気あいあいと話ができた」と喜んでいった。看護師を目指す学生たちに、高齢者の健康や日常の暮らしについて実地で理解を深めさせる授業の一環。吉原地域センターを訪ねた学生10人は、血圧測定をし、メモを取りながら地域の良いところや農作業のことを聞き取った。

(金山努)